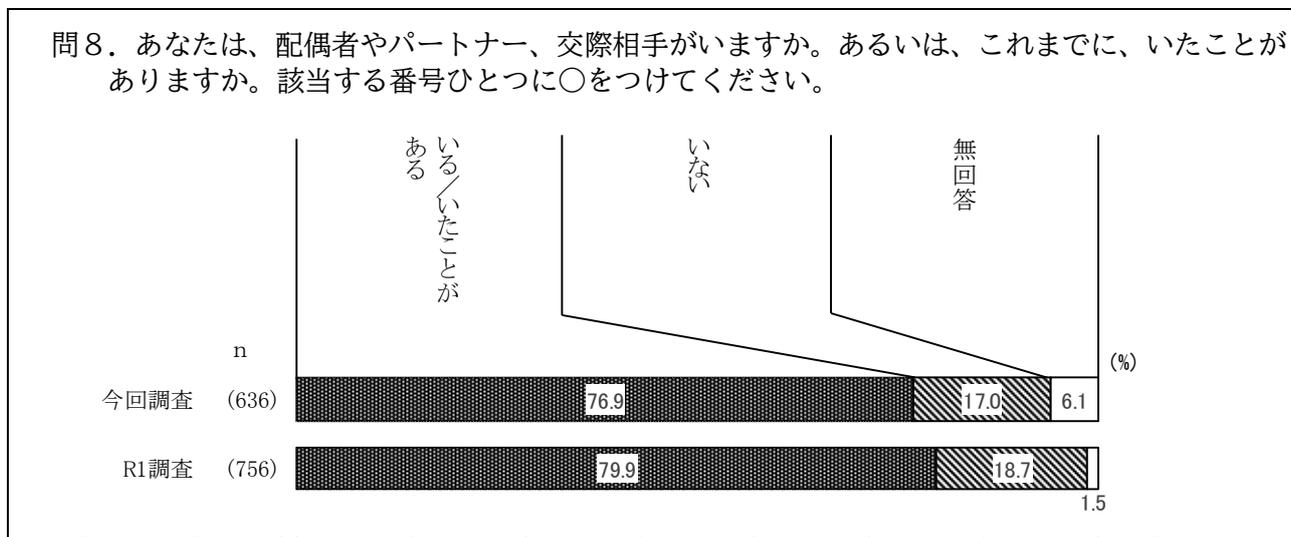


5. DVについて

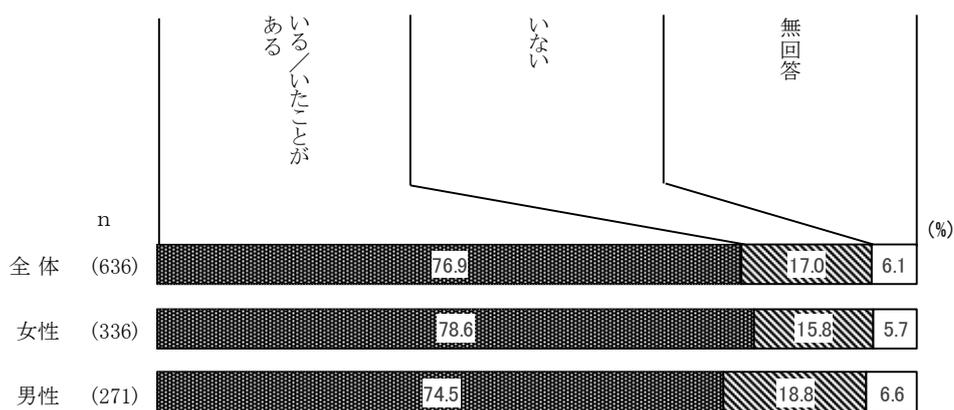
(1) 配偶者や同棲相手の有無



配偶者やパートナー、交際相手の有無について聞いたところ、「いる/いたことがある」が76.9%、「いない」が17.0%となっている。

【性別】

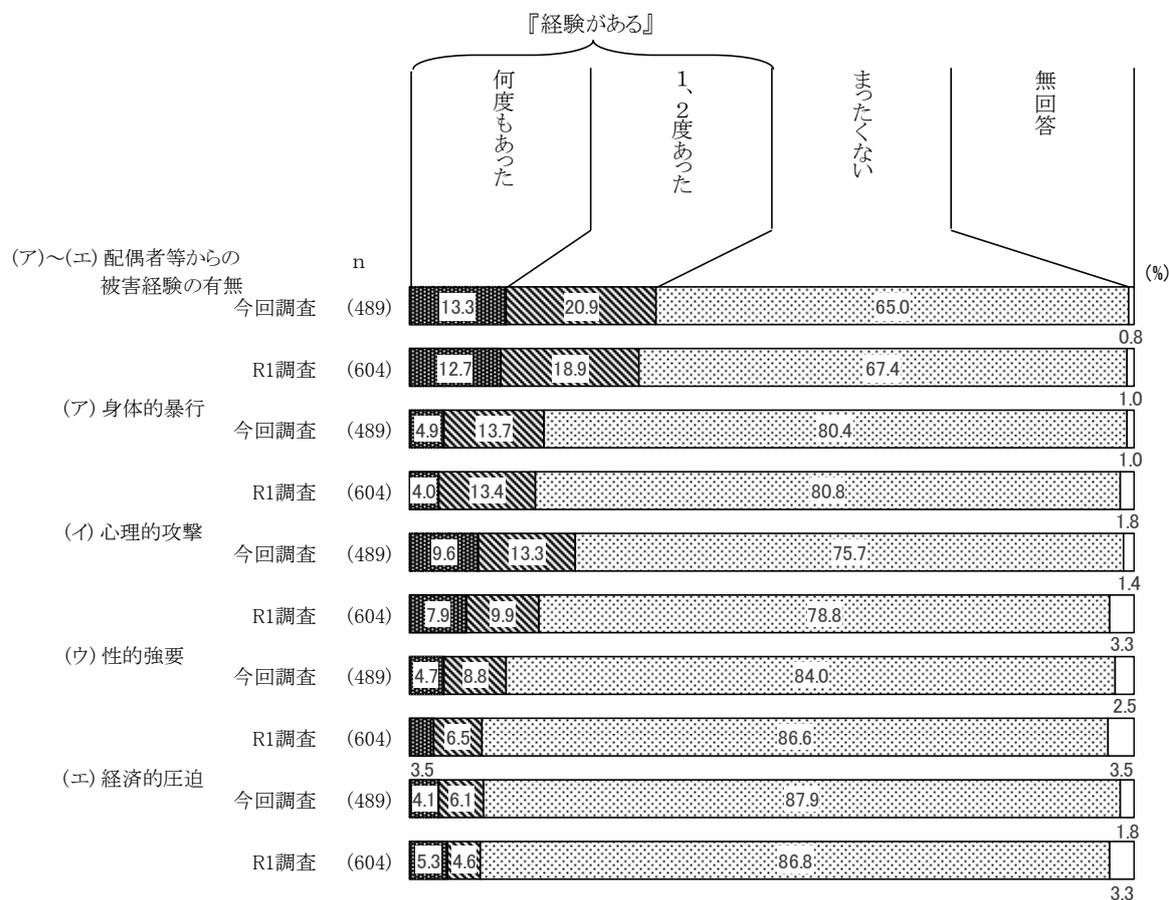
性別にみると、「いる/いたことがある」は女性が男性よりも4.1ポイント高くなっている。



(2) DVの被害経験

※問8で「1 いる/いたことがある」と回答された方のみお答えください。

問9. (1) あなたはこれまでに、あなたの配偶者などから(ア)～(エ)のような行為(DV)をされた経験がありますか。



- (ア) 身体的暴行：なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなど
- (イ) 心理的攻撃：人格を否定するような暴言、交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視したり、長期間無視するなどの精神的な嫌がらせ、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫など
- (ウ) 性的強要：いやがっているのに、性的な行為を強要される、見たくないのにポルノ映像等を見せられる、避妊に協力しないなど
- (エ) 経済的圧迫：生活費を渡されない、貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害されるなど

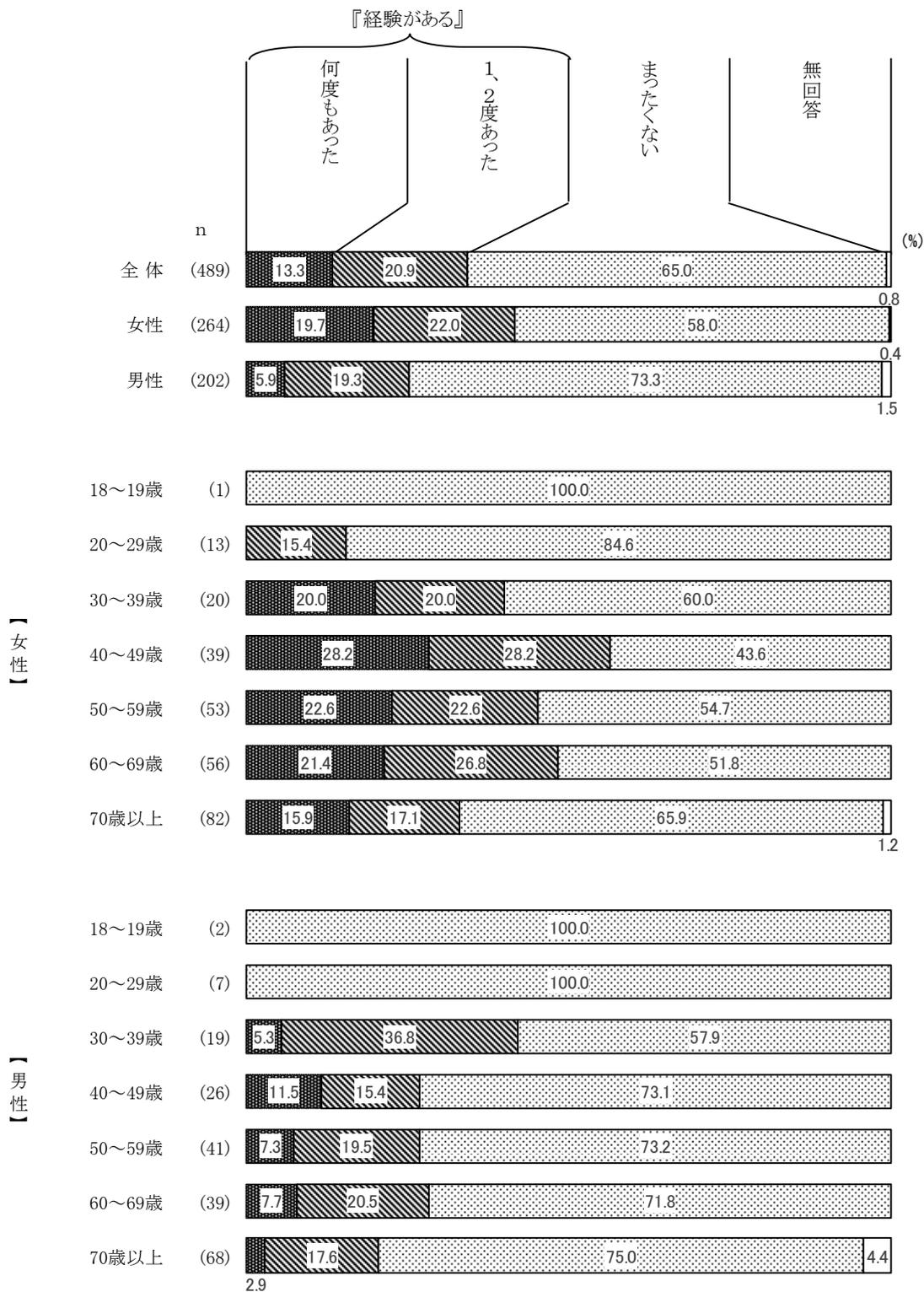
『(ア)～(エ)配偶者等からの被害経験の有無』で『経験がある』と答えた割合は、前回調査と比較して2.6ポイント上昇している。

種類別にみると、『経験がある』と答えた割合は、「(イ)心理的攻撃」が22.9%で最も高くなっており、前回調査よりも5.1ポイント高くなっている。

(ア) ~ (エ) 配偶者等からの被害経験の有無【性・年齢別】

『経験がある』と答えた割合は、女性が男性よりも16.5ポイント高くなっている。

『経験がある』と答えた割合は、女性40～49歳、女性60～69歳、女性50～59歳、女性30～39歳、男性30～39歳で4割以上となっている。



調査の結果／5. DVについて

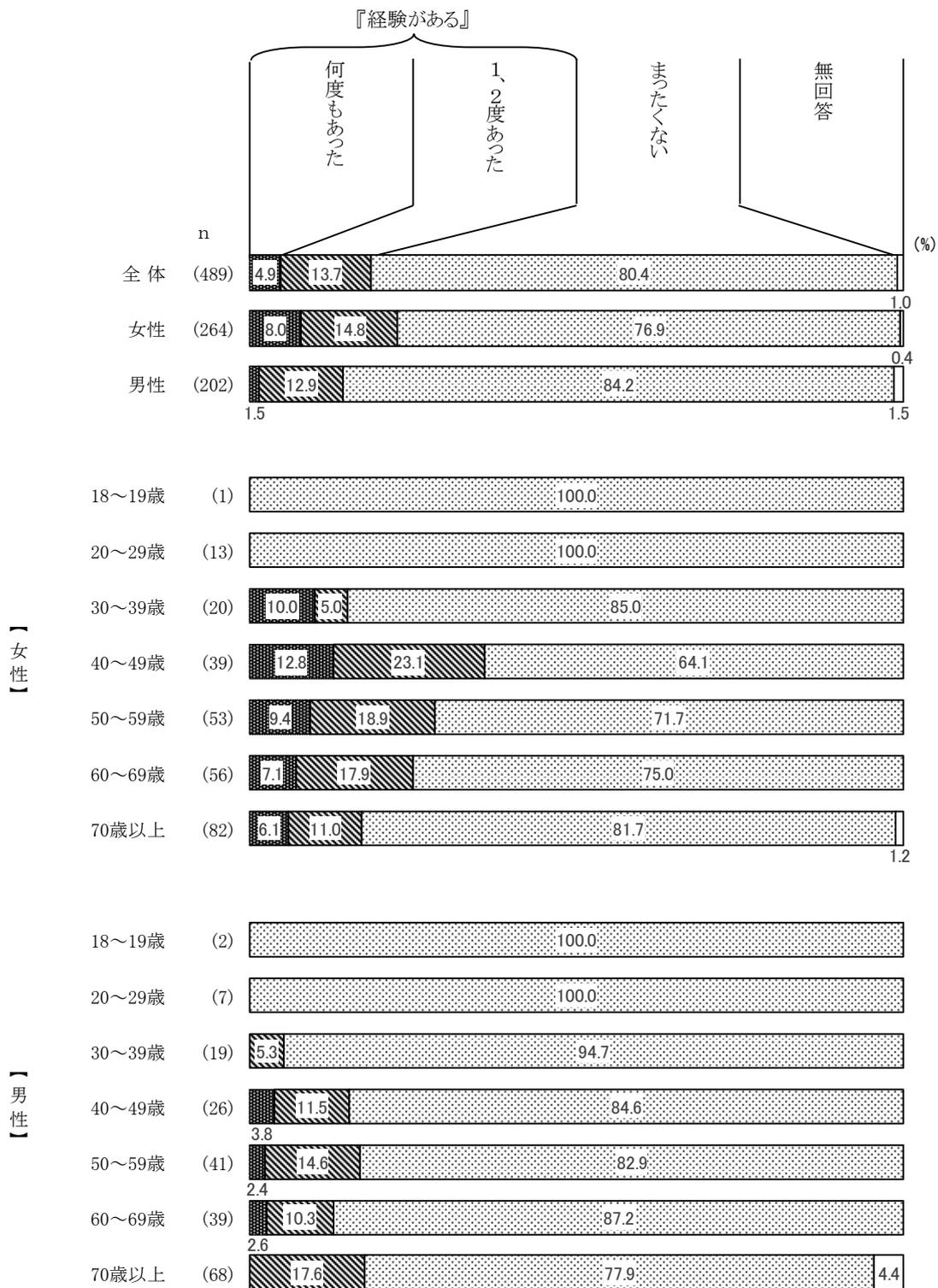
(2) DVの被害経験

(ア) 身体的暴行

【性・年齢別】

『経験がある』と答えた割合は女性が男性よりも8.4ポイント高くなっている。

『経験がある』と答えた割合が最も高いのは女性40～49歳で35.9%となっている。

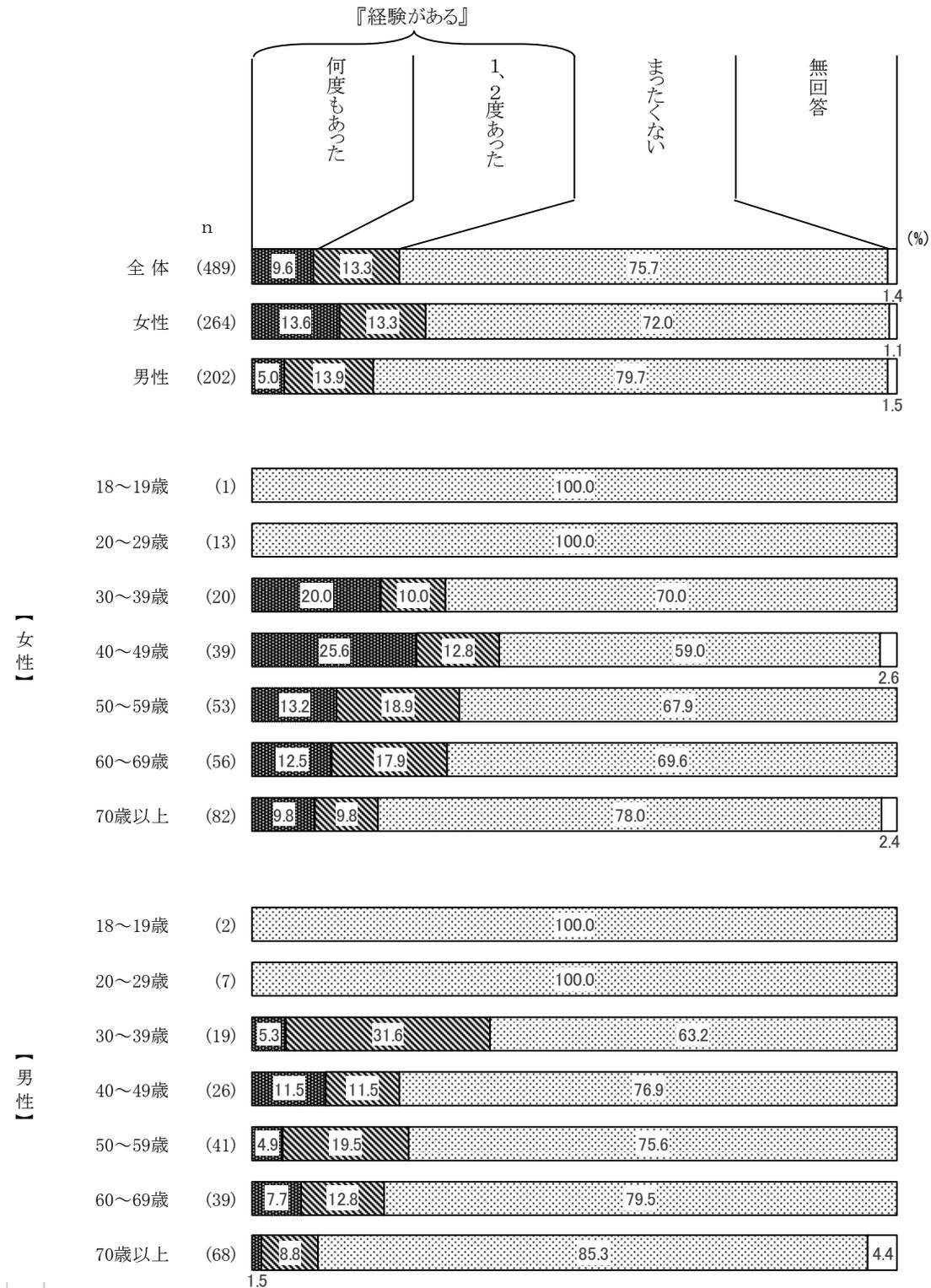


(イ) 心理的攻撃

【性・年齢別】

『経験がある』と答えた割合は、女性が男性よりも8.0ポイント高くなっている。

『経験がある』と答えた割合は女性40～49歳で38.4%、男性30～39歳で36.9%と高くなっている。



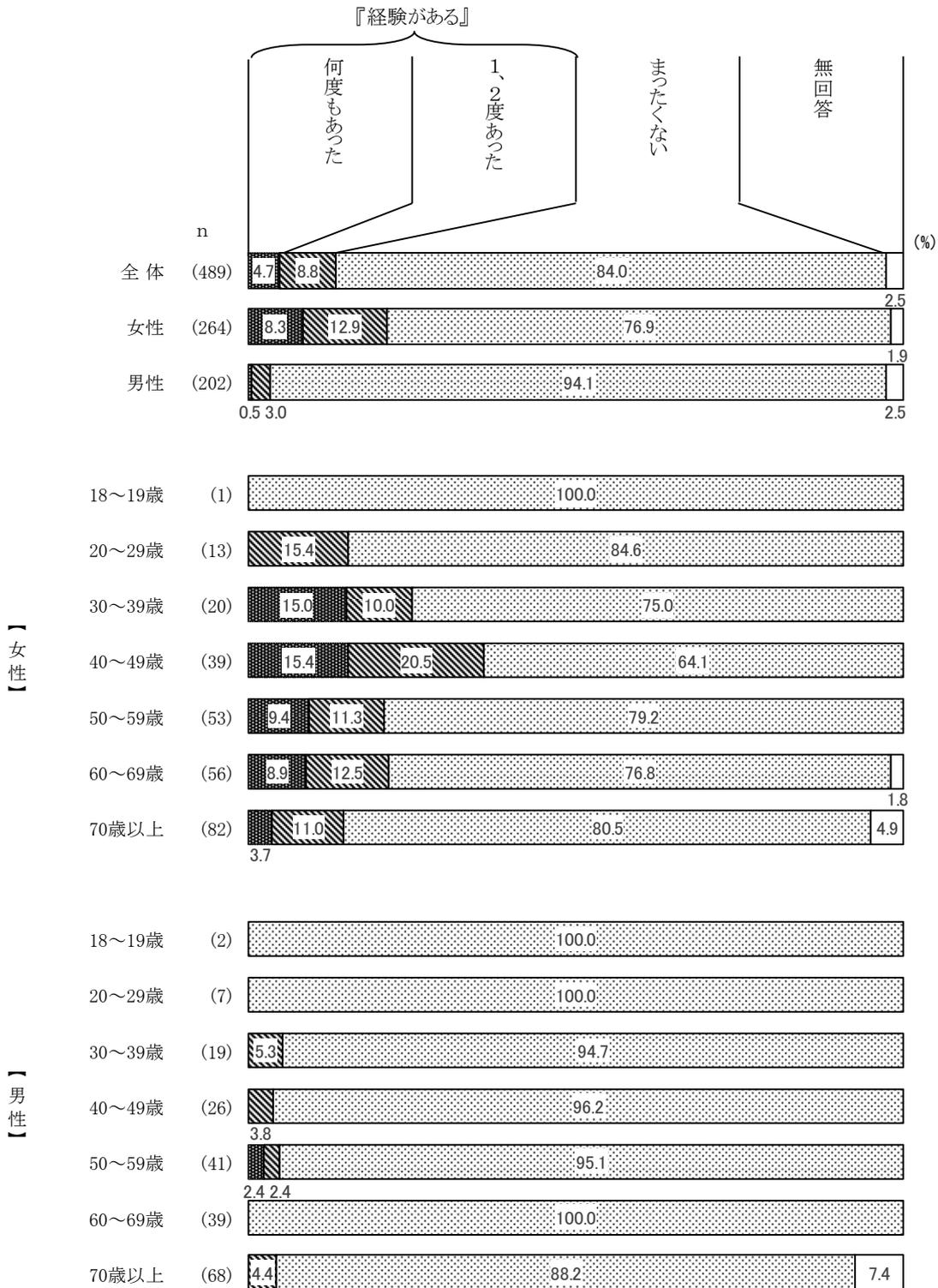
調査の結果／5. DVについて

(2) DVの被害経験

(ウ) 性的強要

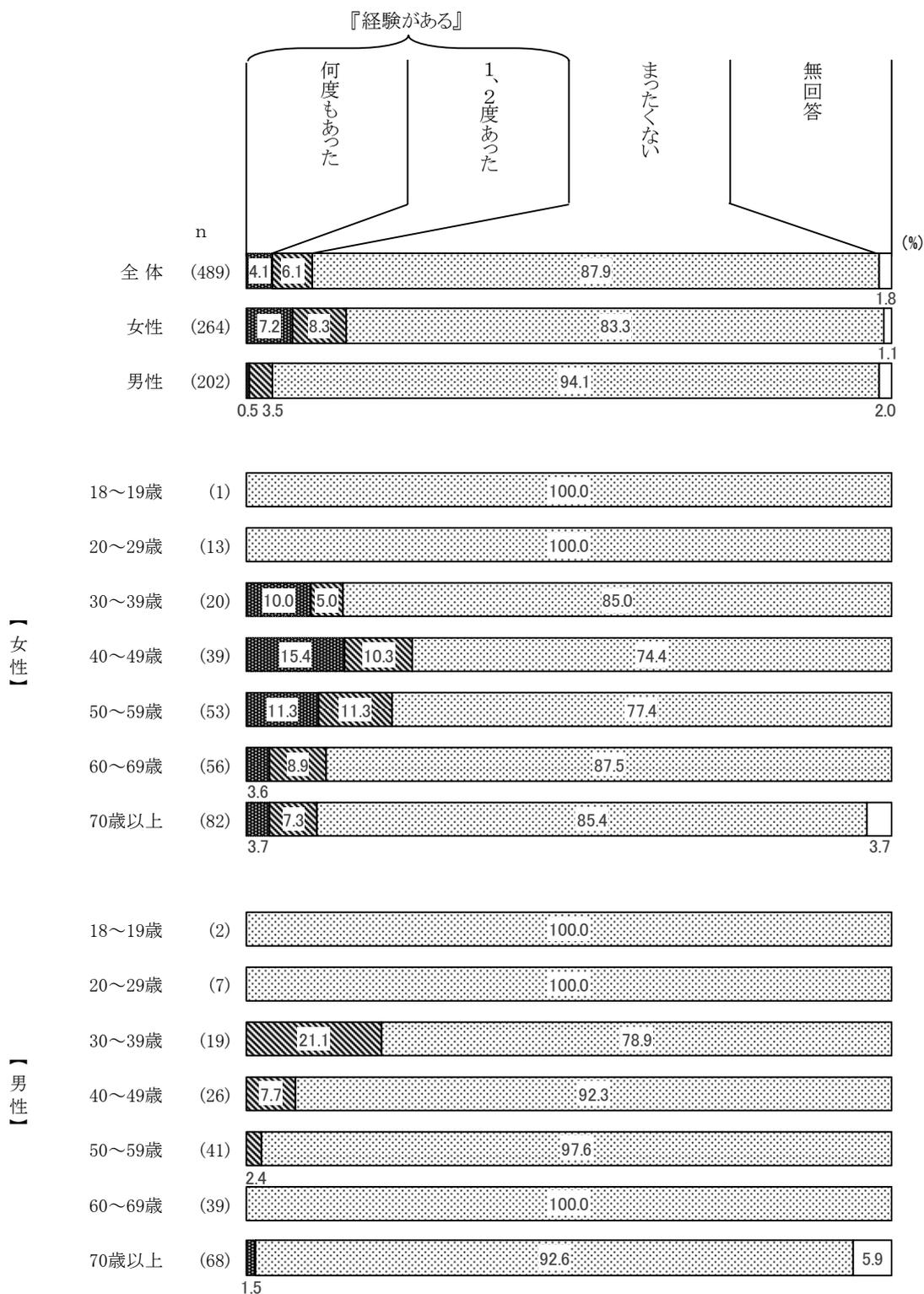
【性・年齢別】

『経験がある』と答えた割合は、女性が男性よりも17.7ポイント高くなっており、女性40～49歳で35.9%と最も高くなっている。



(エ) 経済的圧迫
 【性・年齢別】

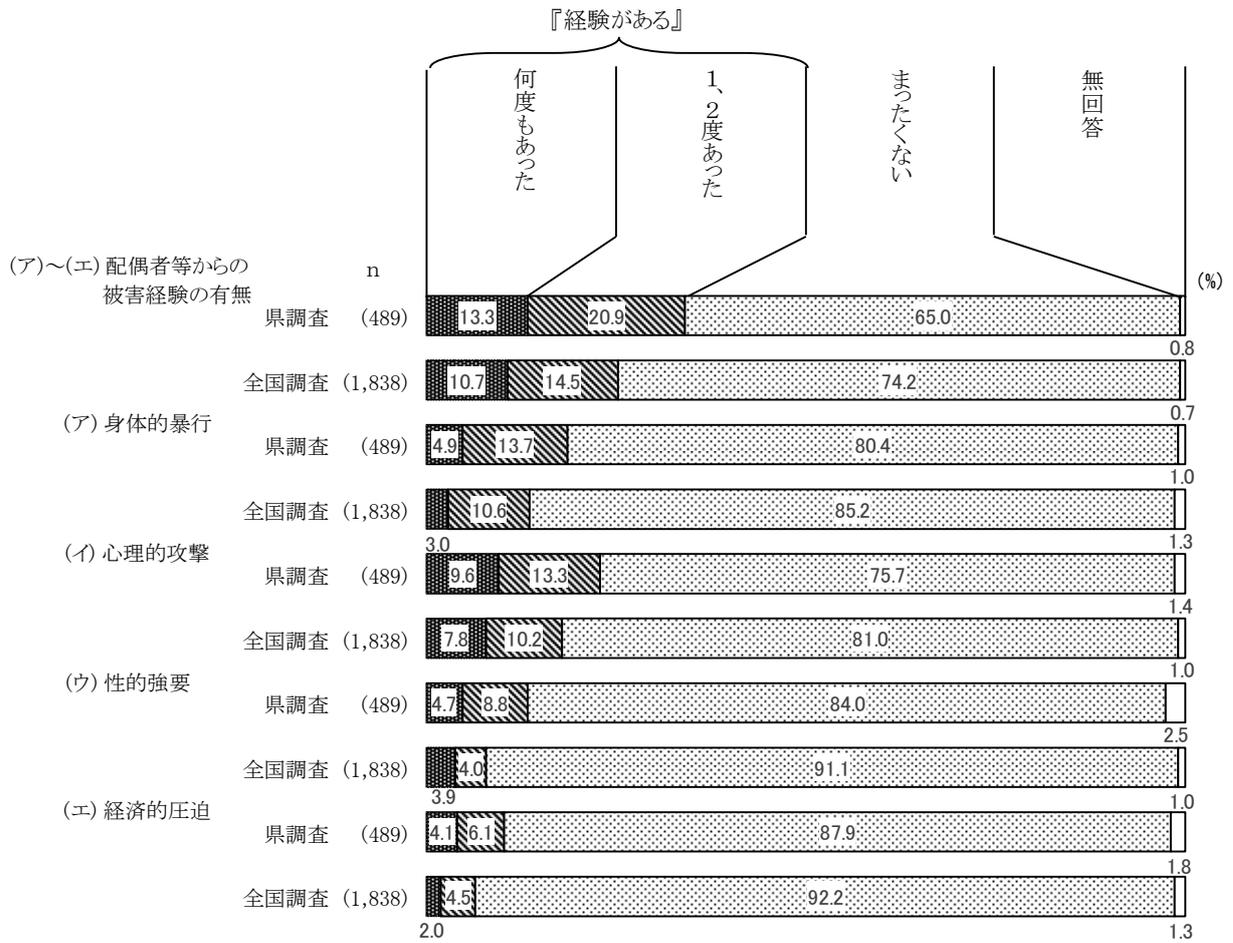
『経験がある』と答えた割合は、女性が男性よりも11.5ポイント高くなっており、女性40～49歳で25.7%と最も高くなっている。



調査の結果／5. DVについて

(2) DVの被害経験

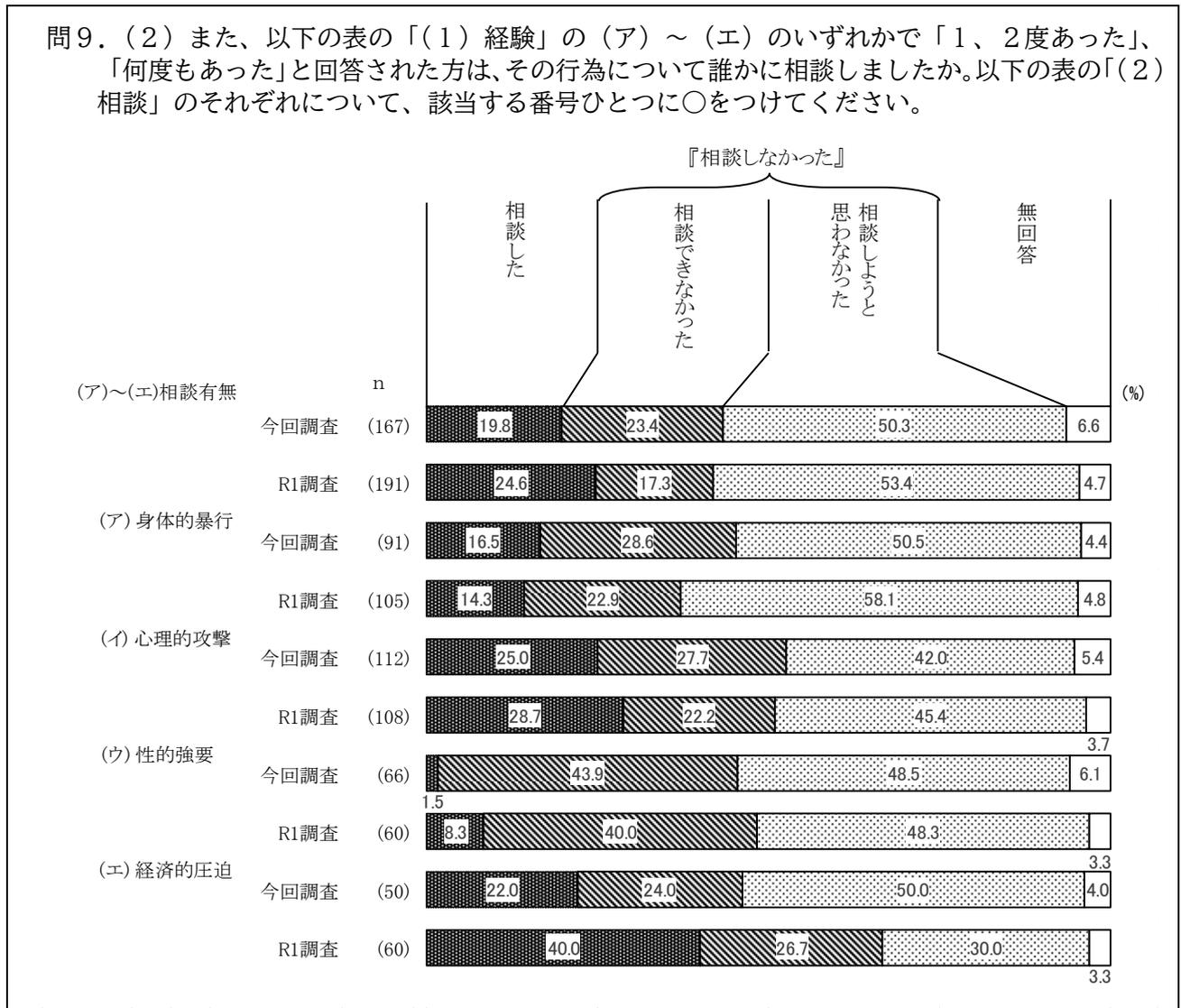
(参考) 全国調査：内閣府「男女間における暴力に関する調査（令和5年11月調査）」



※全国調査では、18～59歳を調査対象としている。

(3) DV被害の相談状況

問9. (2) また、以下の表の「(1) 経験」の(ア)～(エ)のいずれかで「1、2度あった」、「何度もあった」と回答された方は、その行為について誰かに相談しましたか。以下の表の「(2) 相談」のそれぞれについて、該当する番号ひとつに○をつけてください。



DV被害の相談状況について聞いたところ、「(ア)～(エ)相談有無」では「相談した」と答えた割合が2割弱となっている一方、『相談しなかった』と答えた割合は7割を超えている。

種類別にみると、『相談しなかった』と答えた割合が最も高いのは「(ウ)性的強要」で92.4%となっている。

【前回調査（令和元年）との比較】

前回調査と比較すると、「(ア)～(エ)相談有無」では「相談した」と答えた割合は前回調査よりも4.8ポイント低くなっている。

種類別にみると、「相談した」と答えた割合は、「(エ)経済的圧迫」で18.0ポイント、「(ウ)性的強要」で6.8ポイント、それぞれ前回調査よりも低くなっている一方、『相談しなかった』と答えた割合は、「(ウ)性的強要」では、前回調査よりも4.1ポイント高くなっている。

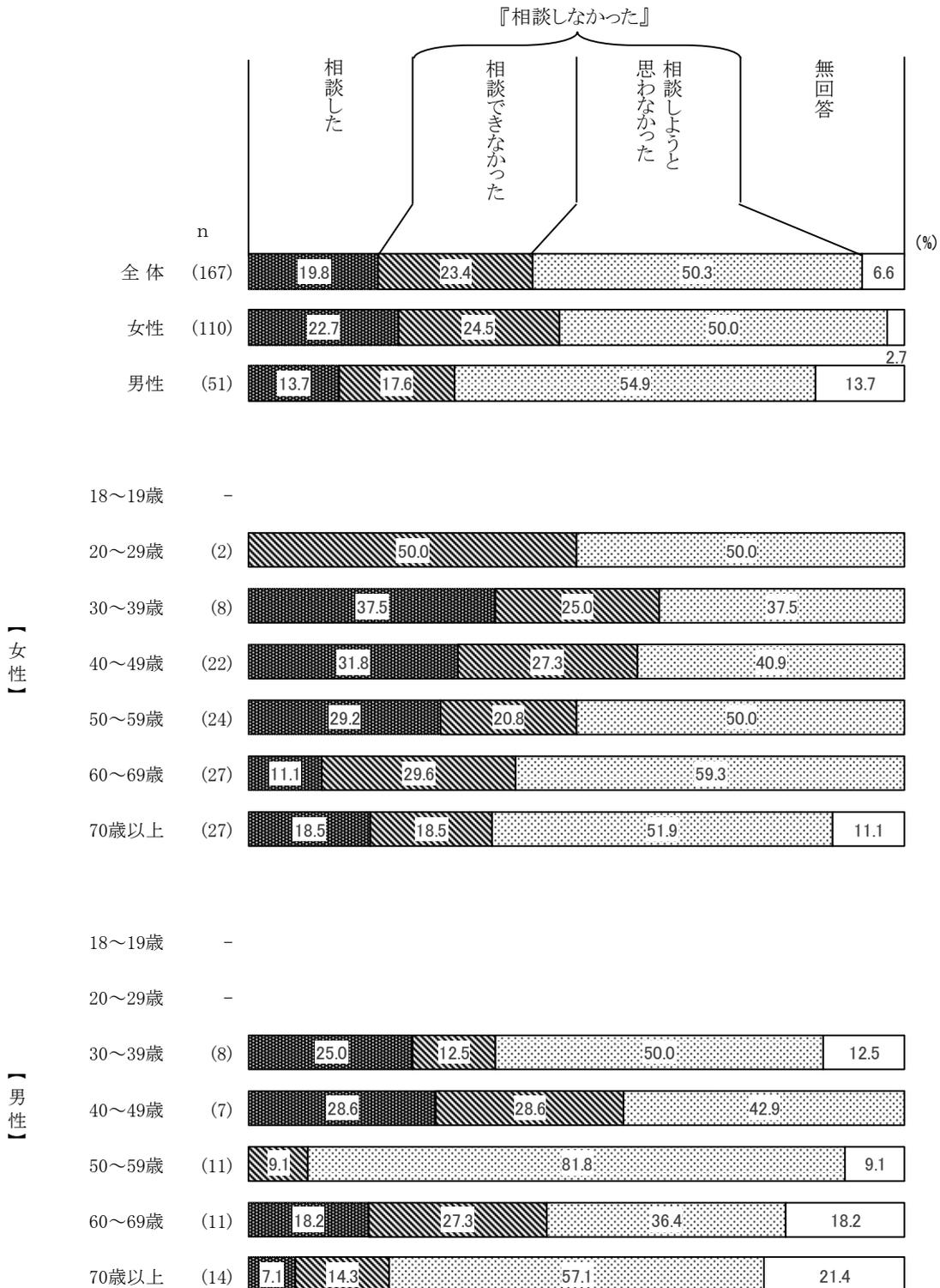
調査の結果／5. DVについて

(3) DV被害の相談有無

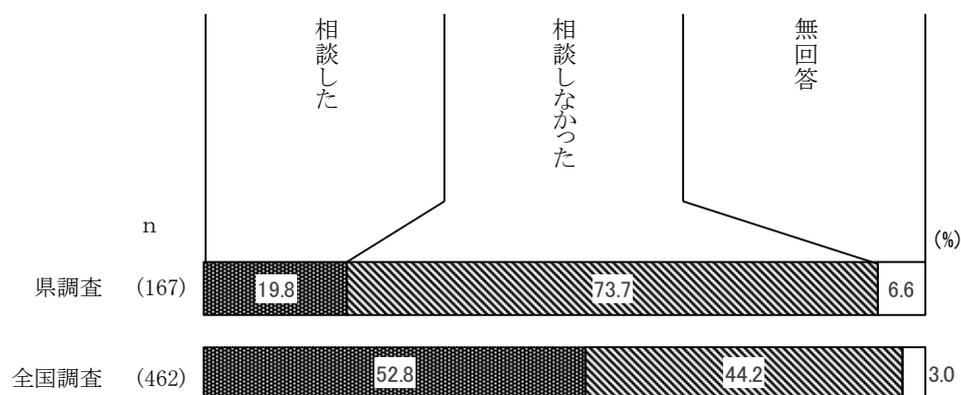
(ア)～(エ)相談有無

【性・年齢別】

「(ア)～(エ)相談有無」では「相談した」と答えた女性の割合は男性よりも9.0ポイント高くなっている。



(参考) 全国調査：内閣府「男女間における暴力に関する調査（令和5年11月調査）」

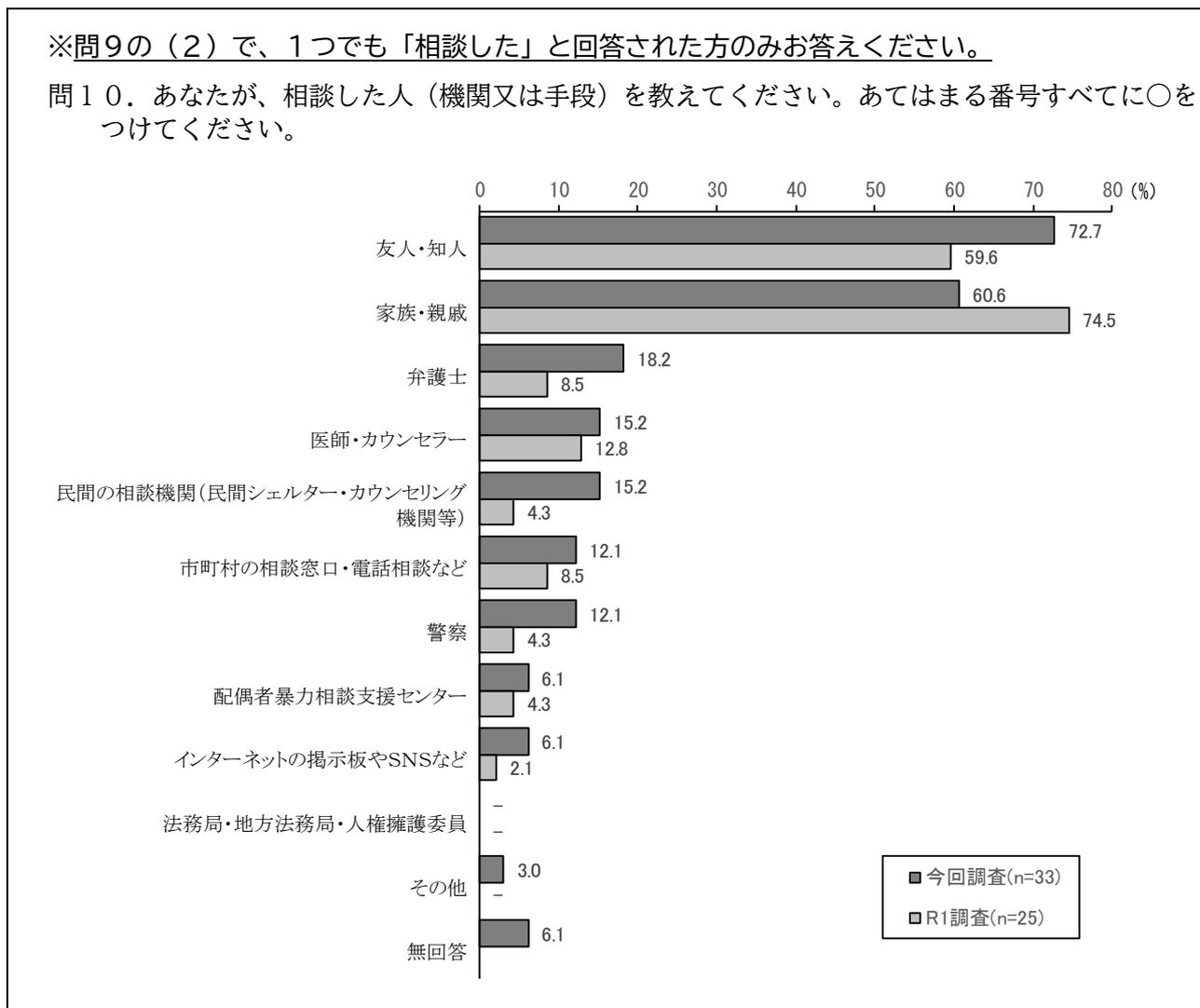


※県調査:(ア)～(エ)相談有無の結果。「相談しなかった」は、「相談できなかった」、「相談しようと思わなかった」の合計
 ※全国調査では、対象年齢が18～59歳で、設問が具体的な相談先を示した上で回答を求めている。

(4) DV被害の相談先

※問9の(2)で、1つでも「相談した」と回答された方のみお答えください。

問10. あなたが、相談した人(機関又は手段)を教えてください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



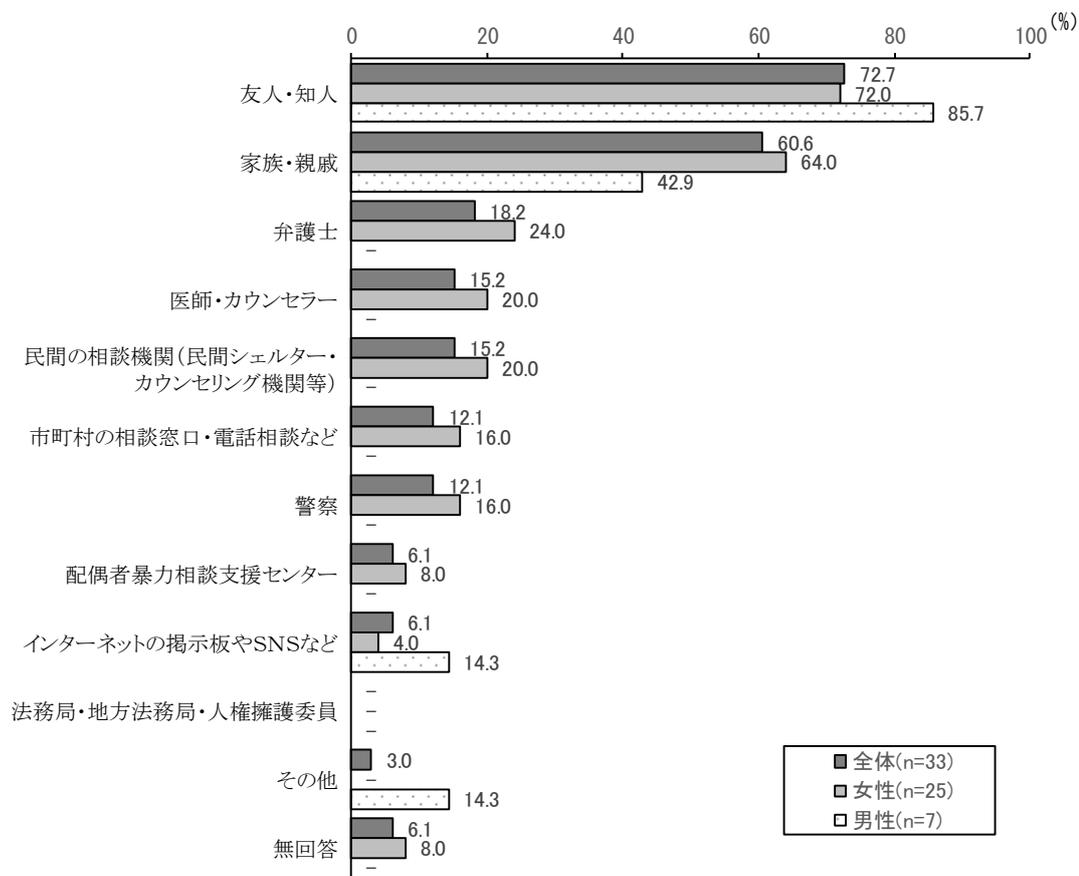
DV被害の相談先では、「友人・知人」が72.7%で最も高く、次いで「家族・親戚」で60.6%、「弁護士」で18.2%となっている。

【前回調査(令和元年)との比較】

前回調査と比較すると、「友人・知人」は13.1ポイント、「民間の相談機関(民間シェルター・カウンセリング機関等)」は10.9ポイント、「弁護士」は9.7ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「家族・親戚」は13.9ポイント低くなっている。

【性別】

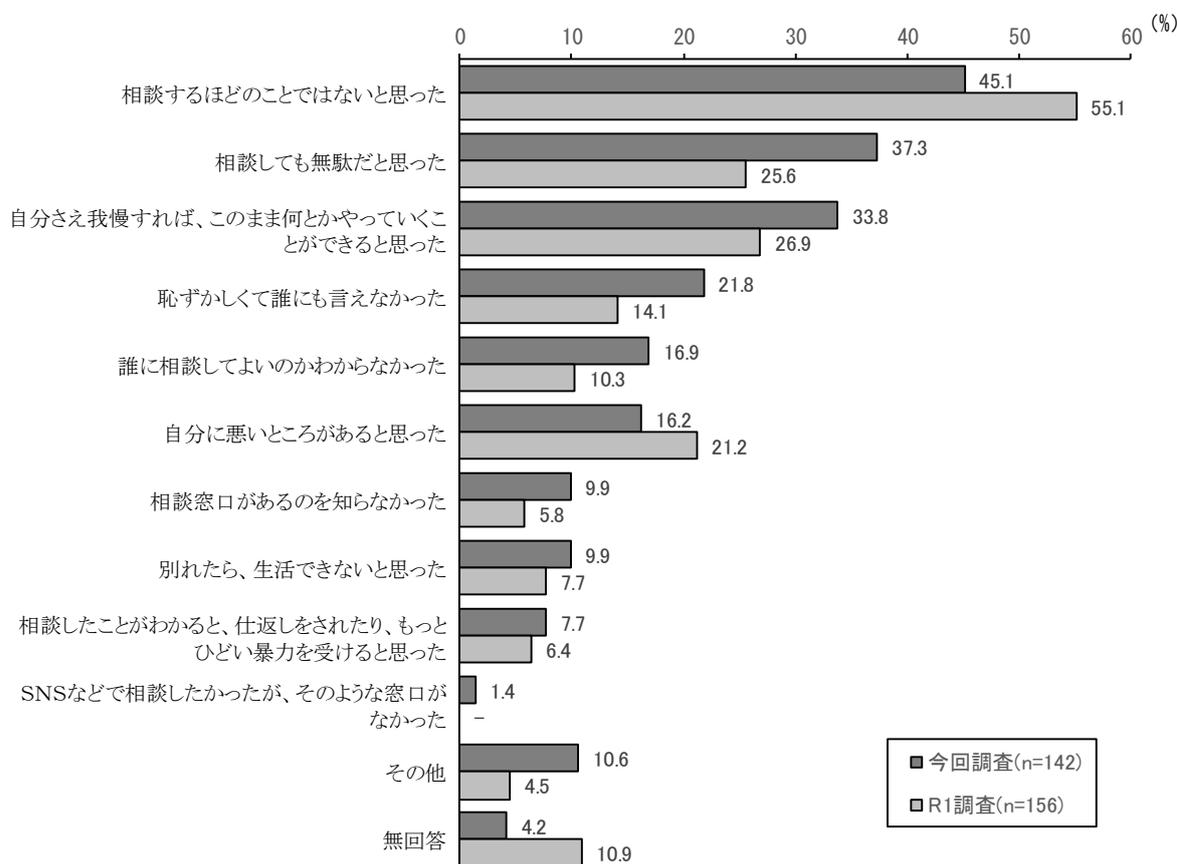
回答者数が少ないため参考値として掲載する。



(5) 相談しなかった理由

※問9の(2)で、1つでも「相談できなかった」、又は「相談しようと思わなかった」と回答された方のみお答えください。

問11. あなたが、誰(どこ)にも相談できなかったのはなぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



相談しなかった理由を聞いたところ、「相談するほどのことではないと思った」が45.1%で最も高く、次いで「相談しても無駄だと思った」で37.3%、「自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思った」で33.8%となっている。

【前回調査(令和元年)との比較】

前回調査と比較すると、「相談しても無駄だと思った」は11.7ポイント、「恥ずかしくて誰にも言えなかった」は7.7ポイント、「自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思った」は6.9ポイント、それぞれ高くなっている。

一方、「相談するほどのことではないと思った」は10.0ポイント、「自分に悪いところがあると思った」は5.0ポイント、それぞれ低くなっている。

【性別】

女性が男性よりも割合が高いのは、「別れたら、生活できないと思った」で14.1ポイント、「相談したことがわかると、仕返しをされたり、もっとひどい暴力を受けると思った」で11.1ポイント、「自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思った」で8.2ポイント、それぞれ高くなっている。

男性が女性よりも割合が高いのは、「相談するほどのことではないと思った」で18.6ポイント、「自分に悪いところがあると思った」で9.0ポイント、「誰に相談してよいのかわからなかった」で5.3ポイント、それぞれ高くなっている。

